



目指すは生涯現役!

窪添 永稔さん(79)

球技全般が得意で、学生の頃はソフトボール部のピッチャーとして活躍していた窪添永稔さん。サラリーマン時代はゴルフに熱中し、仲間とホールを周って腕を磨いていたそう。今も趣味として嗜んでいます。

退職後、ソフトボール部の後輩だった武市憲雄さんに誘われたことを機に、シニアのソフトボールチームに入団。今も現役でプレーしています。所属するチームでは、選手兼監督を務め、選手のまとめ役をけん引。戦略を練りチームを勝利へと導くために尽力しています。

大会は、年齢ごとにシニア、ハイシニアなどに分かれており、来年から最上位のダイヤモンド古希クラスの選手として出場します。「身体が動く限りは続けていきたい」と永稔さん。生涯現役を目指し練習に汗を流しています。



地域の宝『土佐あかうし』の魅力を知ってほしい

秋山 陽彦さん(58)

本山町で畜産を営んでいる秋山陽彦さん。繁殖農家として働く父親の姿を見て育ったことから自然と就農を意識し始め、長年畜産にかかわることが決め手となり、10年前に就農しました。

牛舎では、地域特産の土佐あかうし

を中心に母牛と子牛合わせて50頭ほどを飼育。「日々成長していく牛や新たに生まれた子牛に出合えた時はうれしい」と話します。育てた牛に高値が付き、評価されることにやりがいを感じるそうですが、我が子のようにかわいがってきた牛を出荷する際の寂しさはひとしおです。

ウクライナ情勢などを背景に農家経営は厳しい状態が続いているが、「地域の誇りである土佐あかうしの魅力を多くの人に知ってもらいたい」と陽彦さん。質の高い子牛の生産に尽力しています。

地域の方との交流が頑張る力になっています!

(写真:左下) 土居 永子さん(70)

つどいのカフェ スタッフのみなさん

南国市十市の活性化、地域住民の憩いの場づくりを目的に十市高齢者多世代交流プラザで開かれている『つどいのカフェ』。土居永子さんは、立ち上げ時から運営に携わっています。スタッフは地元の仲間たちで役割分担を行い、毎回7~8人のスタッフで営業。手作り料理のおいしさが口コミで広がり人気も定着しています。

「地域の方々に知ってもらうまでは苦労しま

十市出張所管内より



した」と永子さん。手作りチラシを作成するなど地道な活動が身を結び、地域住民はもちろん市外からも来店客が訪れます。提供するモーニングセットは、トーストに副菜、スープなどがついて350円@@!

永子さんは「地域の方との交流が頑張る力、生きがいにつながっている。これからも長く続けていきたい」と話します。次回の営業は7月14日です♪

土長 地区から こんこちは!

おおとよ支所管内より



家族でキャンプや川遊びを楽しんでいます!

喜多河 和起くん(7)

初芽くん(3)

父: 隆一さん 母: 佐知子さん

4人きょうだいの次男・和起くんと三男の初芽くん。和起くんは、料理作りはもちろん食べることも大好き! 学校では、体育の授業のキャッチボールや、図工の時間に粘土で工作するのが楽しいと教えてくれました。恥ずかしがり屋な面もあるけど、周りの様子を見て行動できるしっかり者です。

末っ子の初芽くんは、社交的で運動神経抜群! 2歳の時にお父さんが投げたボールをバットで打ち返してきたそう@@! ブランコ遊びとイチゴが大好きで、何事にも挑戦する活発な男の子です。

けんかをしながらも4人で一緒に遊ぶことも多く、休みの日は家族でキャンプや川遊びなどを満喫♪ ご両親は「信念を持ち、人に流されずに自分で考えて行動できる人に育ってほしい」と願っています。

5 れいほく地域

ゼンマイ受け込み開始！



ゼンマイの品質を確認する職員

れいほく管内では5月上旬より、乾燥ゼンマイの受け込みが始まりました。3月中旬頃から採れはじめ、今年も上々の出来。作業は5月中旬頃まで行われました。

収穫からもみ上げ、乾燥、バチ(足)取りなど、手間暇がかかる乾燥ゼンマイ。JA高知県れいほくゼンまい部会では、山に自生する株を長年かけて増やし、産地化に取り組んできました。

受け込みはJAの担当職員が持ち込みや、庭先集荷で対応しており、規格や品質を確認した後、県内外に出荷されます。受け込み作業は7月末まで行わ
れ、例年並みの出荷を目指します。

6 南国市地域 学校給食で土佐甘とうを! 栄養教諭らにPR



学校給食での提供を呼びかける山岡部会長

日、高知県学校栄養士会の研修会で県内の栄養教諭や学校給食職員に向けて、土佐甘とうの魅力をPRしました。

研修会には、部会を代表して山岡伸一 部会長が出席。土佐甘とうの特徴や栄養素、天敵昆虫を用いた環境保全型農業など、実際のほ場の写真などを示しながら「子どもでも安心して食べられるので、ぜひ学校給食で取り入れてください」と呼びかけました。

平成13年に南国市で栽培が始まった土佐甘とう。同部では、8戸が72・6アールで栽培しており、冬春期を担う産地として安定した供給体制の維持に努めています。

3 土長地区

通常総会を開催しました！



令和5年度通常総会の様子

JJA高知県土長地区管内で活動する2つの青壯年部は5月、令和5年度通常総会を開きました。1日に開催された南国市本部の第52回通常総会には部員9人とJJA役職員が出席。全3議案を協議の結果、すべて原案通りに可決・承認されました。

14日には、れいほく本部の総会が執り行われました。総会には、部員26人とJA役職員が出席し、全4議案を協議。すべて原案通りに可決・承認されました。

今年度、創立70年の節目を迎える高知県青壯年連盟。7月24日には70周年記念大会が開かれ、組織の活性化、農家所得の向上に向けて取り組んでいきます。

4 南国市地域 大きくなあれ！ 地元小学生とサツマイモ植え付け



部員に教わりながら植え付けをする児童

JJA高知県土長地区管内で活動する長岡青壮年部は5月9日、南国市下末松で同市立長岡小学校の児童とサツマイモの苗を植え付けました。青壮年部員13人と同校の1、2年生児童76人が参加し「土佐紅」を定植。体験した児童は「いっぱい植えられて楽しかつた」「大きなお芋になつて収穫するのが楽しみ」と笑顔で話しました。

植え付けたサツマイモは、10月上旬頃に収穫を迎える予定で、児童らは収穫体験も予定。同部の山崎隆弘さんは「体験を通して農業の楽しさや、地域で栽培されている農作物に興味をもつてもうえたらうれしい」と話しました。

Monthly Topics

..... できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



南国市地域

＼南国市産品フェア／
とさのさとで試食宣伝！

吉延農組合は6月9日、本山町吉延地区で毎年恒例の田んぼアートの田植えを行いました。美しい景観を保つ地域の棚田を地区内外の人たちに発信しようと、本山町特産品ブランド化推進協議会が平成22年から始めたもので、今年で15回目。平成31年からは、同組合が運営を引き継ぎ、活動しています。

今年は、あいにくの雨でしたが、組合員や同町農業公社、同協議会メンバーら34人が参加。手際よく畠を植えていきました。参加者は、事前に引いたライン



2 れいほく地域

毎年恒例！
田んぼアート田植え



を目印に赤、白、黄色など5色の苗を手植え。描く絵柄や文字はその年の情勢なども踏まえて決めており、今年は干支の辰や、同地区のイメージキャラクターにもなっている『蜂の子』のほか『ようきたねよしのぶ』など、文字を4カ所の棚田に植え付けました。

えいのう～



情報

れいほく地域より

■ 土長営農経済センター れいほく営農販売課 0887-82-2803

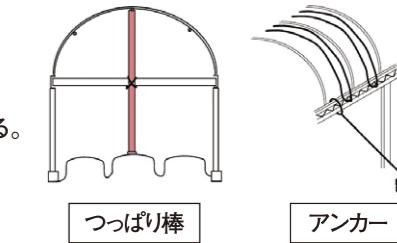
油断大敵！台風への備えを万全に

8月、9月は台風が多くなる季節です。台風だけでなく突風やゲリラ豪雨等異常気象によりどんな悪天候に見舞われるか分かりません。以下の対策を行い、被害を最小限に抑えましょう。

〈園芸〉

● 浸水・冠水対策

- ① 大雨に備え、ハウスや露地ほ場周囲の排水溝を点検し土砂などを除去する。
- ② ほ場への浸水を防止するため、周囲に排水路を確保する。浸水を防ぐ土のう、水をかき出すポンプなども用意しておく。



● 強風対策

- ① 天パイプへ間伐材などでつっぱり棒を入れる。
- ② 強風による浮き上がりを防止するため、ハウスをアンカーで引っ張る。
- ③ 天およびサイドに防風ネットを張り、マイカーラインを短い間隔で取り付ける。
- ④ 穴を開いているところは補修する。
- ⑤ ハウス外に置いた資材も風で飛ばされないように片付ける。
- ⑥ 重油タンクはワイヤー等で固定し、燃料コックは閉めておく。

● 病害対策

- ① 台風通過後には、殺菌剤を散布し病害の発生を予防する。

〈水稻〉

● 浸水・冠水対策

- 畦畔や水口・水尻、用水路の整備を行う。冠水した場合は、早期に排水し、新しい水と入れ換える。台風直前には、稻への影響を少なくするために深水状態にする。

● 病害虫対策

- 台風通過後は病害虫が発生しやすくなるため、発生状況を確認して防除を行う。

GAP掲示板 vol.47 れいほく地域

気温の高い日が続くこれからの時期は 熱中症対策を十分に行ってください。

- ・ こまめな水分補給や、休憩をとりましょう。
- ・ 高温期の作業は極力避け、やむを得ず作業を行う場合は空調服やネッククーラーを活用し、身体を冷ましながら作業を行いましょう。
- ・ 热中症の症状（めまい、吐き気、汗をかかない等）が見られる場合は、作業を中断しすぐ涼しい場所で休んでください。



罰則規定について

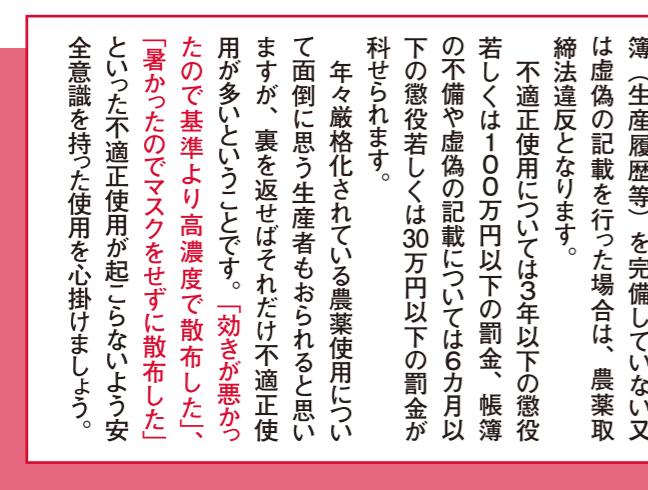
農薬を不適正に使用した場合や、帳簿（生産履歴等）を完備していない又は虚偽の記載を行った場合は、農業取締法違反となります。

不適正使用については3年以下の懲役若しくは100万円以下の罰金、帳簿の不備や虚偽の記載については6ヶ月以下の懲役若しくは30万円以下の罰金が科せられます。

年々厳格化されている農薬使用について面倒に思う生産者もおられると思いますが、裏を返せばそれだけ不適正使用が多いということです。「効果が悪かったので基準より高濃度で散布した」、「暑かったのでマスクをせずに散布した」といった不適正使用が起ららないよう全意識を持った使用を心掛けましょう。



土長営農経済センター
南国営農指導課
吉川 悠也



農薬の事故防止について

農薬が適正に使用されないと、食品衛生法の残留基準値を超えて農薬が残留する可能性があります。その場合、出荷した農作物は回収や廃棄の対象となります。また、誤った使用や保管管理は自身や周辺への飛散事故を招く恐れがあります。

農薬の不適正使用を防止するため、日頃から農薬ラベルを確認し使用記録の記帳を行いましょう。特に以下のポイントに十分注意して農薬を使用しましょう。

① 適用農作物を確認

農薬は製剤ごとに使用できる農作物が異なります。ミニトマトとトマトやインゲンマメとサヤインゲンなど類似した農作物でも大きさや収穫時期、収穫部位の違いによって登録内容が異なる場合があるので注意しましょう。また、薬剤の名前が違つても含有成分が重複していることもありますので注意しましょう。

② 使用時期、使用回数を確認

農薬には「収穫〇日前まで」といった使用時期や含有する有効成分毎の使用回数が定められています。農薬を使用する前には、必ずラベルに記載された使用時期、使用回数を確認しましょう。

③ 使用量、希釈倍数、注意事項を確認

ラベルに記載されている使用量・希釈倍数を確認し、正確な計量ができる道具を使用しましょう。また、注意事項を遵守し、マスク、手袋等保護具の着用や専用機具の使用など安全対策を徹底しましょう。

④ 使用後の機具はきれいに洗浄

散布機具に洗浄不足で残っていた薬液によって農業事故が発生したケースもあります。使用後の機具は清水で複数回通水するなどしっかり洗浄しましょう。



農薬は製剤ごとに使用できる農作物が異なります。ミニトマトとトマトやインゲンマメとサヤインゲンなど類似した農作物でも大きさや収穫時期、収穫部位の違いによって登録内容が異なる場合があるので注意しましょう。また、薬剤の名前が違つても含有成分が重複していることもありますので注意しましょう。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています!

みんなのひろば

▶高知の特産物の中でも一番小夏が好きです。東京に10年ほどいましたが、小夏のおいしさは県外では知られていないと思うので、もっと発信することができたらといつも思っています。色々な品種があることを知ることができて驚きました。

(なんごく南支所・39歳)

▶高知を代表する初夏のかんきつ『小夏』。果実一つにつ手作業で袋掛けをするなど、手間暇がかかるつでいる感じました。小夏のおいしさや魅力が多くの方に伝わるとうれしいですね。

新農人の田中さん。県外の出身で農業に特に縁がないにもかかわらず、幼い頃に家族旅行で見た高知の農業風景の思い出から高知でトマト作りを始めたと記事を読み、高知県民としてうれしく思います。おじいちゃんをたくさん育ててください。

▼農業を始めるきっかけなど、一人一人にストーリーがありますね。魅力に感じた農業の世界で先輩農家のアドバイスを参考しながら、トマト栽培を極めてほしいですね。田中さんの今後の活躍を応援していきましょう！

毎回新しい情報をありがとうございます。とても勉強になっています。

(本山出張所・48歳)

▶今月号の特集、『風味豊かで栄養抜群！香り高く美しい！「青ねぎ」「やっこねぎ』』はいかがでしたか？暑くなるこれから時期、そうめんなどの葉味として大活躍のネギの魅力を余すところなく紹介しています(笑) 今後も『食』と『農』を中心に様々な情報を掲載していきます。お楽しみに♪

3月号の『とざいじる』プレゼント、夜須のフルーツトマトが当選しました。大変おいしくいただきまし

▼当選おめでとうございます!! 今月号の読者プレゼントは『高知県産焼肉3種セット(冷凍)』です。今後もチャレンジしてください! みんなの応募お待ちしております。

愛しい野菜や花。目や手をかけないとしっかり育つてくれない。子育てと同じですね。

(岡豊出張所・76歳)

▼しっかりと手をかけることで作物も期待に応えてくれているのかもしませんね。手間と時間がかかる分、収穫を迎える喜びはひとしお。味も格別でしょうね!

若い人が農業に参入し、頑張っているのはいいことですね。

(なんごく北支所・80歳)

▼今後の農業を支えていく若い人たちの存在は頼もしい限りです。若いチカラで地域農業を盛り上げ、持続可能な農業の確立、発展につながっていきことを期待しています★

大好きな小夏コーナー、何回も読みました。知らない加工品もあり、勉強になりました。

(なんごく南支所・69歳)

▼小夏の加工品がこんなにもたくさんあるとは知りませんでした。ジャムにドレッシング、焼き菓子など、初夏の味・小夏を年中味えますねーおいしそう〜♪

『うちんくの台所』は、思い付かなかつた食材の組み合わせを教えてくれて重宝しています。

(なんごく南支所・71歳)

▼地元女性部さんならではのレシピで参考になりますよね! 今月号は安芸地区の女性部さんがレシピを紹介してくれています。お試しあれ!

南国

令和6年度種春バレイショ予約

令和6年度種春バレイショの予約とりまとめを行います。
お申し込みは、最寄りの支所、出張所、担当営農課外職員、または南国資材店舗までお願いします。

申込期限 令和6年7月31日（水）

お問い合わせ先 土長當農経済センター購買課 南国資材店舗 (TEL : 088-863-5788)

予定産地	品種
北海道	男爵
	メークイン
	キタアカリ
	とうや
長崎	デジマ



※天候不順などにより産地が変更になったり、予約数量を確保できない場合があります。
全量確保できない場合は、代替対応もしくは数量を調整させていただきます。ご協力お願いします。